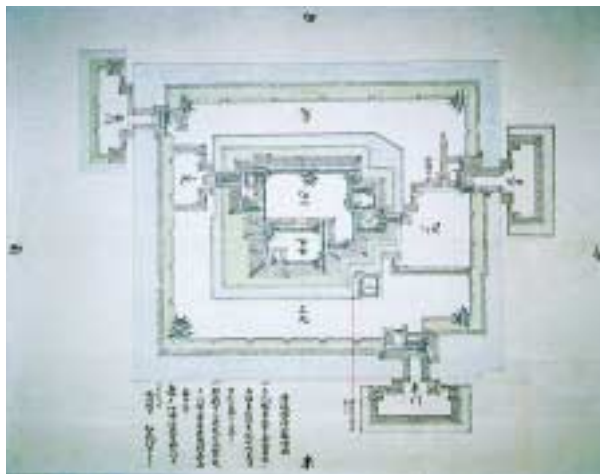


# 丹波国篠山城絵図(享保 弍)

たんばのくにささやまじょう  
えず(きょうほうさんねん)

市指定

所在地：呉服町



民家の土蔵から発見された絵図で、現存する篠山城石垣修理絵図の中では最も古い。享保3年(1718)の年号が入り、篠山藩主松平信岑の時のものである。三の丸米蔵の石垣が崩れたので、幕府へ修理の伺いを出した際の控えである。